



## 火曜喫茶店で「見守り 感謝の手紙展」開催 北の台小の2年生全員が来館して交流を

大上地区社協が主管している深谷大上ふれあいの家の「火曜喫茶店」(店長は岩月理事)で、12月21日(火)に「北の台小学校 見守り感謝の手紙展」が開催された。



3クラスがそれぞれ歌を披露

この日、午後2時から北の台小学校の2年生3クラスの児童全員が地域探検で、クラスごとに担任の先生に引率されて来館し、市ノ澤会長以下の地区社協会員の見守り隊11人の前でクラスごとに全員で「あわてんぼうのサンタクロース」、「虹」、「夕焼け小焼け」の歌を披露。そして1年生から6年生で作った感謝の手紙を見学した後、会員とお話するなどして交流を図っていた。

また同校の内藤校長、小松教頭も視察に来られ、地域の人たちとの交流・親睦の様子を見守っておられた。

一方、2年生以外の児童は、一度帰宅してから友人や親、祖母と一緒に来館し、館内の展示を見学したり、お菓子を食べながら会員との親睦を深めていました。



靴を揃える児童にも日本の伝統は生きていた



会員の皆さんと児童の交流風景

## 校長先生も出席した児童見守り懇親昼食会

小学校2学期の終業式の12月24日(金)、北の台小と綾北小の児童の下校見守りを終えた大上地区社協会員の23名が、午後12時30分に大上自治会館に集まり、お互いの労をねぎらう懇親昼食会が行われた。

当日は、市ノ澤会長の挨拶があった後、特別参加された北の台小の内藤校長、綾北小の鈴木校長から、日頃の見守りに対する謝意の挨拶があり、出席した会員と意見交換されるなど、なごやかなうちに盛り上がりを見せていた。



市ノ澤会長からねぎらいの挨拶が